

## 市町村議会議員特別セミナー

1月8日、9日の2日間の日程で、令和7年度第3回「市町村議会議員特別セミナー」を開催し、全国各地から131人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「久住昌之のニッポンふらっとグルメ」と題して、「孤独のグルメ」原作者の久住昌之氏が、取材先の選び方や番組の裏話などを交えながら、地域振興や地域の魅力再発見のヒントを話され、「非日常を売る観光」ではなく「日常の価値を伝える観光」があること、何もないと思われがちな地域こそ魅力の宝庫であるという視点を与えていただきました。参加者からは、「まちおこしのヒントになった」、「先生の視点が素晴らしい。与えられた情報だけではなく自ら動くことが大切であると感じた」、「昔からその地域で食べられている物や愛されている物が意外とヒットする可能性があることを知った」などの感想をいただきました。

続いて「被爆体験の継承」をテーマに、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館朗読ボランティアの桂幾子氏による「被爆体験記朗読会」と、被爆体験証言者の重田忠治氏による「被爆体験講話」を開催しました。「被爆体験記朗読会」では、はじめに被爆の惨状が分かる映像を視聴していただいた後、桂氏に被爆者や被爆者の遺族等が綴った原爆詩と体験記を朗読していただき、最後には参加者全員で声を揃えて一編の詩を読み上げました。その後の「被爆体験講話」では、被爆者である重田氏が「被爆体験講話～広島原爆証言 爆心地1.5kmの惨状」と題して、重田氏自作の資料を使いながら自らの体験談を語っていただきました。参加者からは、「被爆体験記の朗読は平和学習において重要な活動である」、「貴重な講演だった。感謝している」、「映像でより戦争の恐怖や怖さを感じた。

平和を守ることの大切さを強く感じた」、「被爆者が少なくなっている中、被爆者本人の話を開けて良かった」、「世界唯一の被爆国であるからこそ伝え続けなければならないことを改めて認識した」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「主権者教育～政治離れを防ぐための第一歩」と題して、一般社団法人WONDER EDUCATION代表理事/総務省主権者教育アドバイザーの越智大貴氏から、社会や政治に「参加しても良い」と思える人を増やすための教育の重要性などについてご講演いただきました。参加者からは、「若者が政治に参加するための教育は必要。そのための子ども議会などをどんどん進めるべきと思った」、「社会的無気力感を変えるため、世代に関係なく課題に対して自由な意見を出し合い、自分ごととして取り組むことの大切さを学んだ」、「誰でも社会に影響を与えることができるんだと思ってもらえるような働きかけは自分たちにもできると思った」などの感想をいただきました。

最後に、「自治体財政の基本と予算審議のポイント」と題して、立命館大学政策科学部教授の森裕之氏から、自治体財政の基礎知識や予算書の読み方などについてご講演いただきました。参加者からは、「行政の財政運営を家計の収支やペットボトルの容量補てんなどに例えた説明は非常に分かりやすく、良い講演だった」、「税金の使途や集め方（予算）の決定が議会の最大の役割である。本講演ではそのチェックポイントを学べた」、「家計簿との対比による説明が世界一分かりやすく楽しい講演だった。もう少し話を聞きたかった」などの感想をいただきました。

久住昌之の  
ニッポンふらっと  
グルメ

「孤独のグルメ」原作者  
久住 昌之氏

被爆体験記  
朗読会

被爆体験記朗読ボランティア  
桂 幾子氏

被爆体験講話  
～広島原爆証言  
爆心地1.5kmの惨状

被爆体験証言者  
重田 忠治氏

主権者教育  
～政治離れを  
防ぐための第一歩～

(一社) WONDER EDUCATION代表  
理事/総務省主権者教育アドバイザー  
越智 大貴氏

自治体財政の  
基本と予算審議の  
ポイント

立命館大学政策科学部教授  
森 裕之氏

